

## ジェンダーの社会学 a

金3 米村千代先生

キーワード： ジェンダー セクシュアリティ 社会学 フェミニズム 男性学

 ←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。**Web** 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。 [ジャパンナレッジ](#) 【学内限定】

→ 「日本大百科事典」「現代用語の基礎知識」「情報・知識 imidas」「日本の論点」などがオンラインで一括検索できます。上記のキーワードを検索してみましょう。

 [社会学文献情報データベース](#)

→ 日本において、あるいは日本の研究者が発表した社会学関連の文献の書誌情報を収録した日本社会学会のデータベース。

**図書** 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

ジェンダーに関する図書の多くは、分類番号が「367」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのか手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中（4月～8月）は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

 『[フェミニズム](#)』（ワードマップ）江原由美子、金井淑子編 新曜社 1997

→ フェミニズムの思想の展開・潮流がわかりやすく解説されています。フェミニズムに対するステレオタイプから距離をとって、フェミニズム運動や思想が目指したもの、その主張の多様性や展開を知る上で入門となる本です。

★【本館K棟3階A 367.1/FEM】

 『[ジェンダーの社会学](#)』（岩波講座現代社会学；11）井上俊 [ほか] 編集委員 岩波書店 1995

→ ジェンダーに関する論考集です。上野千鶴子、江原由美子によるそれぞれの章は、ジェンダーという視点が切り開いてきた地平、その展開を知ることができます。

★【本館K棟3階A 361.08/195】

 『[男性学入門](#)』伊藤公雄著 作品社 1996

→ 日本における男性学の第一人者による入門書です。ジェンダーとくくと‘女性だけの問題’と思いがちですが、（もちろん女性差別はジェンダー論の重要なテーマであり続けていますが、）これは‘鎧を脱ごう’というメッセージともに男性の側からジェンダー問題をとらえた書です。

★【本館K棟3階A 367.5/DAN】

 『[男性学](#)』（日本のフェミニズム；別冊）上野千鶴子 [ほか] 執筆 岩波書店 1995

→ 日本のフェミニズムというシリーズの別冊として『男性学』が編集されています。男性からジェンダーやフェミニズムを考える論文集です。

★【本館K棟3階A 367.3/D39】

 『[セクシュアリティ](#)』ジェフリー・ウィークス [著]；上野千鶴子監訳 河出書房新社 出版者 1996

→ セクシュアリティに関する概説書です。性の多様性あるいは多文化主義について、社会が認めてきたのは実は‘無害な多様性’だけだという指摘には、はっとします。理想をもつことはもちろん重要ですが、その実現がなぜ容易ではないのかしっかりと見極めることの必要性を考えさせられます。

★【本館K棟3階A 367.9/SEK】

 『[事実と神話](#)』（第二の性：決定版；1）シモーヌ・ド・ボーヴォワール [著]；井上たか子、木村信子監訳 新潮社 1997

→ あの有名な古典、『第二の性』の新訳です。『第二の性』には図書館にもいくつかの版があります。古典として現代とは異なる時代・時間を感じる部分や記述がある一方で、変わらない問題もあり続けていることがわかります。

★【本館K棟3階A 367.2/DAI】 ★【本館L棟4階小型 367.2/DAI】

- 『[体験](#)』(第二の性：決定版；2) シモーヌ・ド・ポヴォワール [著]；中嶋公子, 加藤康子監訳 新潮社 1997  
→ こちらも『第二の性』の新訳です。興味のある方は、旧訳との対比を試みるのもおもしろいでしょう。表現の変化に社会の変化をうかがうことができます。  
★【本館K棟3階A 367.2/DAI】★【本館L棟4階小型 367.2/DAI (上・下巻)】
- 『[新しい女性の創造](#)』(改訂版) ベティ・フリーダン著；三浦富美子訳 大和書房 2004  
→ アメリカのリベラル・フェミニズムの代表的な本です。専業主婦の憂鬱、閉塞感を「名前のない問題」として問題化した‘古典’といえます。  
★【本館K棟3階A 367.1/ATA】
- 『[セカンド・ステージ：新しい家族の創造](#)』ベティ・フリーダン著；下村満子訳 集英社 1984  
→ ‘女性の社会進出’を謳った『新しい女性の創造』の続編といってよいでしょう。リベラル・フェミニズムが直面した、職業と‘家庭・家族’をどう位置づけるのかというジレンマが現れています。  
★【本館K棟3階A 367.253/SEK】
- 『[ジェンダー・トラブル：フェミニズムとアイデンティティの攪乱](#)』ジュディス・バトラー著；竹村和子訳 青土社 1999  
→ ジェンダーという概念を構築主義的に批判的に再(あるいは脱)構築することを試みている本です。決して読みやすくはありませんが、ポスト・フェミニズムとも呼ばれるこの本によって、フェミニズム、セクシュアリティ研究の新しい潮流にふれることができます。  
★【本館K棟3階A 367.1/JEN】
- 『[家父長制と資本制：マルクス主義フェミニズムの地平](#)』上野千鶴子著 岩波書店 1990  
→ マルクス主義フェミニズムについてわかりやすく論じられています。「家事は労働である」というマルフェミの知見をはじめ思想の特徴と社会の現実が簡明に論じられています。  
★【本館K棟3階A 367.2/U45】\*本館閲覧室4階小型に文庫版有
- 『[ラディカル・フェミニズム再興](#)』江原由美子著 勁草書房 1991  
→ ‘個人的なことは政治的である’というラディカル・フェミニズム思想の可能性が社会的に展開されています。批判されることも多いラディ・フェミですが、‘再興’という表現は、この思想がもつ示唆は決して少なくないことを教えてくれます。  
★【本館K棟3階A 367.2/RAD】
- 『[母性](#)』(日本のフェミニズム；5) 井上輝子, 上野千鶴子, 江原由美子編 岩波書店 1995  
→ ‘母性’に関する論文集です。フェミニズムが母性(母であること)をどう位置づけてきたか、両者の間の関係、両義性について知ることができます。  
★【本館K棟3階A 367.21/B66】

**参考図書(辞書・事典等)** 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

- 『[フェミニズム事典](#)』(新版) リサ・タトル著；渡辺和子監訳 出版年 明石書店 1998  
【本館K棟2階参考 367.1/FEM】
- 『[社会学事典](#)』見田宗介, 栗原彬, 田中義久編 弘文堂 1988  
★【本館K棟3階A 360.3/SH12】【本館K棟2階参考 360.3/SH12】

**My Book List & Keywords** 自分で見つけた図書や、実際に使った検索キーワードなどをメモしましょう。

---



---



---



---



---



---

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口(<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

本や論文を探す方法(<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/pfsearch.html>)

作成：千葉大学附属図書館 2011.10.1